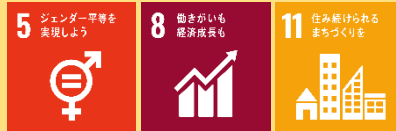


持続可能な「地域力」としての「女性力」の発見に関する研究

研究分野: 社会科学

キーワード: 社会学、地域社会、ジェンダー

貢献できるSDGsの区分:



国際社会学部 国際社会学科 教授 吉光 正絵

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/my/>

研究概要

「地域力×女性力＝無限大の未来」が、平成27年度「男女共同参画週間」^{※1}のキャッチフレーズとして提示され、日本各地の自治体では、多くの講座やイベントが企画・実施された。このキャッチフレーズは、コロナ禍を経た現在においても、持続可能な地域社会の成長を考える際に大切な視点をわかりやすく表現しているのではないかと考えられる。女性たちが何度も訪れたい、住みたいと思ひ、そこで楽しいと思える活動や自分らしく輝き活躍できる場があることが、少子高齢化が進み、人の移動が激しくなる現代社会において、地域共同体が存続していくための必要不可欠な要件であるからである。

本研究では、女性が何度も訪れたい、住みたいと思う地域社会に必要な条件を具体的に明らかにしたい。この場合、10代の若者を対象としたアンケート調査を実施するとともに、地域社会で活躍してきた女性たちを対象としたインタビュー調査も実施したい。そのことによって、地域社会がよりいっそう持続的に成長していくために必要な「女性たちから選ばれる力」を明らかにすることができると考えられる。

(※1 「共同参画」 2015年5月号 https://www.city.bungotakada.oita.jp/page/page_02586.html)

産学連携の可能性(アピールポイント)

観光産業の活性化や移住といった人の移動、女性や若者の雇用等にとりくむ企業や団体との有意義な連携が可能であると考えられる。

外部との連携実績等

「観光資源としてのライブ・エンターテインメントの「楽しさ」と課題に関する研究」JSPS 科研費 (20K12405)による助成(2020年度から2022年度)

「新上五島町ポータルサイト『みっか』拡充事業」新上五島町と長崎県立大学との相互協力協定事業 (2012年度)